



パテック フィリップ ジュネーブ

2021年6月

パテック フィリップ、芸術的な時計製作と希少なハンドクラフト技術を融合した、6点の新しい現行コレクション・タイムピースを発表

《希少なハンドクラフト2020-2021》展示会を機に、ジュネーブのマニュファクチュールパテック フィリップは、グランド・コンプリケーション、および手彫金、クロワゾネ本七宝、シャンルヴェ本七宝、フランケ本七宝、手仕上げのギヨシェ装飾、ジュム・セッティングなどの芸術的な特徴を備えた象徴的なタイムピースからなる、6点のモデルを全世界に向けて発表する。

1839年の創業以来、常にパテック フィリップは、自社の時計を《完璧なメカニズムを反映する、洗練された造形美を備えた芸術作品》であると考えてきた。当社の控え目でエレガントな、時を超越したデザインにおいては、純粋さと調和の探求が前面に出ている。高度なクラフトマンシップと手作業による精緻な仕上がりが、これをさらに強調している。またパテック フィリップは、時計の装飾に用いられるすべての専門技術が世代から世代へと受け継がれていくことを保証するため、これらの保護育成に努めてきた。

これらの伝統的な専門技術の目的は、毎年、希少なハンドクラフト・コレクションとして発表される新しいユニークピースやリミテッド・エディションのみに限られるものではない。パテック フィリップは、現行コレクションの通常の製作においてもこれらの専門技術を活用し、タイムピースを装飾している。手彫金は、レトログラード日付表示針付永久カレンダー 5160/500モデル、カラトラバ《渦巻とアラベスク模様》5088/100モデル、スケルトン仕上げカラトラバ5180/1モデルなどの時計のケースと文字盤に貴重な息吹を与えている。クルー・ド・パリ・ギヨシェ装飾のモチーフは、グランドマスター・チャイム6300モデル（20の複雑機能を備えたパテック フィリップの最も複雑な腕時計）やワールドタイム・ミニット・リピーター 5531モデルなどの例外的なモデルのケースを装飾している。また本七宝は、ミニット・リピーターを含む一部のグランド・コンプリケーションの文字盤に採用されている。著名なワールドタイムは、文字盤に手仕上げのギヨシェ装飾またはクロワゾネ七宝が施されているのが特徴である。ジュム・セッティングは、多くのグランド・コンプリケーションの輝くハイライトとなっており、ハイジュエリー・モデルを希少な宝石で装っている。今回パテック フィリップは、これら豊かな現行コレクションに6点の新作を加えた。

希少なハンドクラフトによるスカイムーン・トゥールビヨン6002R-001モデル  
ブラウンのシャンルヴェ本七宝とクロワゾネ七宝文字盤を備え、手彫金を施したローズゴールド仕様のグランド・コンプリケーション

2001年、5002モデルとして発表されたパテック フィリップ・コレクション中2番目に複雑な腕時計スカイムーン・トゥールビヨンは、グランド・コンプリケーションの愛好家、コレクターの間で最も追い求められるモデルのひとつとしてゆるぎない地位を確立している。このダブルフェースの腕時計は、2013年から2016年まで、ホワイトゴールド・ケースと青七宝文字盤を組み合わせた希少なハンドクラフト・モデルとして製作された（6002G-001モデル）。2016年以降は、黒七宝文字盤を備えた新しいモデルがラインナップされている（6002G-010モデル）。



## 《報道資料》 ページ 2

マニュファクチュール パテック フィリップは、ローズゴールドの温かみのある輝きとブラウン本七宝の装飾を組み合わせるにより、この象徴的なタイムピースに新しい装いを与えた。文字盤外周、ムーンフェイズ表示窓、ディスクに描かれた月は伝統的なシャンルヴェ本七宝技術によって製作されている。この技術は、分スケールなどの個々の要素が浮彫りとなるように、最初に文字盤プレートを精密に彫刻する必要がある。次に、凹部に手作業で釉薬が施される。文字盤センターは、細く平らなゴールド・ワイヤーで縁取られたクロワゾネ本七宝により装飾されている。ケース、リュウズ、ミニット・リピーター作動用スライドピース、折り畳み式バックルには、全面に手彫金による渦巻と唐草模様が施されている。この最高水準の作業には、マスター・エングレーバーによる100時間以上の忍耐強い作業が必要である。

スカイムーン・トゥールビヨン、トゥールビヨンとカセドラル・ゴングを備えたミニット・リピーターを含む、12の複雑機能の驚異的な組み合わせを特徴としている。前面文字盤は、レトログラーード日付表示針付永久カレンダー、ムーンフェイズ、閏年サイクル表示を備えている。裏面文字盤は、北半球における月と星の動きを忠実に再現する星座表を配している。パテック フィリップは、この壮大な宇宙の動きを描くために、精密に計算された比率に従って、異なる速度で回転する、3枚の重なりあったディスクによるシステムを考案した。

新しいスカイムーン・トゥールビヨン6002R-001モデルには、手彫金を施したローズゴールド仕様のカプリンクスが同梱される。ニューモデルは、本黒七宝文字盤を備えたホワイトゴールド仕様の6002G-010モデルに置き替わる。

### ミニット・リピーター・レトログラーード日付表示針付永久カレンダー 5304/301R-001 モデル 80個のバゲットカット・ダイヤモンドをセッティングした、透明の奇跡ともいえるタイムピースの新しいローズゴールド・バージョン

5104モデルは、透明なサファイヤ文字盤を備えた最初のパテック フィリップ・グランド・コンプリケーションであり、2006年にローズゴールド・インサートを備えたプラチナ・バージョンとして発表された。2014年から2018年まで、これに続くホワイトゴールド・インサートを備えたローズゴールドのバージョンが製作された(5304モデル)。パテック フィリップは、この他に類を見ないタイムピースを新たに解釈し、ベゼル、ラグ、折り畳み式バックルに80個のバゲットカット・ダイヤモンド(約6.22カラット)が燦めく、新しいハイジュエリー・バージョンを創作した。文字盤側では、ムーブメントの驚異的な眺めにハイライトが当てられている。

機械式ムーブメント奥深くへの視覚的な没入を可能にするため、パテック フィリップは、透明なサファイヤ・ディスクを使用し、ゴールドに縁取られた3つの表示窓の中に、黒をバックに白で曜日、月、閏年サイクルを表示する巧妙なシステムを開発した。このようなきわめて薄いサファイヤ・ディスクを微細なステンレススチール製の軸に取り付けるには、特許取得のエクスクルーシブな製造工程の開発が必要であった。

ムーブメントは、面取りを施し、ポリッシュ仕上げされたスチール構成部品が、ペルラージュ仕上げの施されたローズゴールド箔付けの地板(メインプレート)とコントラストをなしている。ホワイトゴールド仕様、ブラック・ラック塗装のリーフ型スケルトン時・分針も、ムーブメントの鑑賞を妨げることがない。文字盤の外周には日付表示目盛を配し、赤い三日月のついたレトログラーード表示針により日付が表示される。永久カレンダー表示に加え、6時位置にムーンフェイズ表示とスモールセコンドを配している。



ケースの側面とミニット・リピーターのスライドピースは、葉のモチーフの刻まれたホワイトゴールド・インサートで装飾されており、このタイムピースのデザインをさらに完璧にしている。

サファイヤクリスタル・バックを通して自動巻ムーブメント、キャリバー R 27 PS QR LU のアーキテクチャー、とりわけ2本のゴングを打つミニット・リピーター機構と、カラトラバ十字モチーフの下にある遠心ガバナーを鑑賞することができる。葉のモチーフで装飾され、ロジウムめっきのくぼみを備えたローズゴールドの偏心マイクロローターからも明らかのように、ムーブメントの仕上げには特別な配慮が注がれている。

### ミニット・リピーター・永久カレンダー 5374G-001 モデル 本青七宝文字盤とカセドラル・ゴングを備えたホワイトゴールドのミニット・リピーター・タイムピース

2016年に発表されたミニット・リピーターと永久カレンダー搭載の5374モデルは、プラチナ・ケースに本黒七宝文字盤を組み合わせ、その卓越したムーブメントによりチャイム・ウォッチの愛好家、コレクターを魅了した。パテック フィリップは、このグランド・コンプリケーションを再解釈し、本青七宝文字盤を備えた新しいホワイトゴールド・バージョンを発表する。

ケースのフォルムは、ハーモニー溢れるデリケートなカーブの組み合わせにより際立っている。ベゼルは凹型のプロフィールを持っている。ポリッシュ仕上げ部分と対照的な、ケース側面に手作業で施されたサテン仕上げのくぼみや、ラグの先端を飾る装飾的なカボションにも、洗練されたディテールを見ることができる。

光沢仕上げの本青七宝文字盤は、希少なハンドクラフトを体現しており、その鮮明な色彩と変質しない輝きで際立っている。18金ゴールド文字盤プレートは、手作業により釉薬が施され、釉薬は約850°Cの炉の中で溶融する。硬くてもろい七宝に、ホワイトゴールド植字ブreg数字の取り付け足を挿入するための穴を開けるというデリケートな工程がこれに続く。永久カレンダー表示（曜日、日付、月、閏年サイクル）と24時間表示は、従来よりひとまわり大きな3つのサブダイヤルに配置されている。ホワイトゴールド夜光付リーフ型時・分針も視認性の向上に貢献している。ムーンフェイズ表示窓は、シャンルヴェ七宝によるホワイトゴールドのフレームにより強調されている。

自動巻ムーブメント、キャリバー R 27 Q は、ムーブメント周囲をほぼ2周する長さのカセドラル・ゴングを備えた、豊かで深い音色を誇るミニット・リピーターを搭載している。

新しい5374G-001モデルには、ホワイトゴールドの折り畳み式バックル付ブリリアント・ダスクブルーのァリゲーター・バンドが装着されている。サファイヤクリスタル・バックとソリッド・ケースバックが共に付属したニューモデルは、本黒七宝文字盤を備えたプラチナ仕様の5374P-001モデルに置き替わる。

希少なハンドクラフトによる婦人用ミニット・リピーター 7040/250G-001 モデル  
フランケ本青七宝文字盤を備え、ベゼルのダイヤモンドを《フラム》セッティングした、新しい婦人用ミニット・リピーター



## 《報道資料》 ページ 4

2011年から2017年まで製作された、クリーム文字盤を備えたローズゴールド仕様の婦人用ミニット・リピーター、レディス・ファースト・ミニット・リピーター7000R-001モデルは、今回フランケ本青七宝文字盤を備え、ベゼルにダイヤモンドをセッティングした、ホワイトゴールド仕様のニューモデルに引き継がれる。直線的なラグとネジ式のバーを備えた著名なオフィサースタイルのニューモデルは、現代的で時を超越した存在感を誇っている。

ゴールドの文字盤プレートには、全面に懐中時計《シャムの闘魚》992/137G-001モデル（2019年創作のユニークピース）の渦巻のパターンからインスピレーションを得た優雅なモチーフによる手仕上げギョシェ装飾と、その上に透明な青七宝が施されており、下地のパターンが輝いて見える。この希少なハンドクラフト技術は、フランケ七宝として知られている。永遠に変らぬ色彩と輝きを誇る文字盤は、ホワイトゴールド仕様のファセット仕上げ槍型時・分針と、これに呼応するフォルムのゴールド転写アワーマーカーを配している。6時位置には控え目なスモールセコンドを備えている。

《フラム》セッティング技術に従い、互いにずらしてベゼルに2列に配置された168個のピュア・トップウェットン・ダイヤモンド（約0.78カラット）が、きらめくタッチを与えている。このパテック フィリップ特許のエクスクルーシブなセッティング方法により、ジェム・セッターは、鋭い平鑿を使用し、ダイヤモンドとダイヤモンドの間のゴールド素材を分割する。こうしてダイヤモンドを下から照らすことが可能となり、同時にこの希少なタイムピースにより軽やかなタッチを与えている。

22金偏心マイクロローターを備えた自動巻キャリバー R 27 PSは、きわめてエレガントなケースの実現を可能にするその薄さ（5.05 mm）と、2本のクラシック・ゴングによる完璧にチューニングされた音色のミニット・リピーターによって際立っている。サファイヤクリスタル・バックを通してそのアーキテクチャーと精緻な仕上がりを鑑賞することができる。このタイムピースには、ソリッド・ホワイトゴールドの交換用ケースバックが付属している。

新しい婦人用ミニット・リピーター7040/250G-001モデルは、26個のブリリアントカット・ダイヤモンド付ホワイトゴールドのピンバックル（約0.18カラット）を備えたパティナ・オーシャンブルー・アリゲーター・バンドを装着している。

### 希少なハンドクラフトによるゴールデン・エリプス5738/51G-001モデル 手彫金とシャンルヴェ七宝の文字盤を備えた、パテック フィリップの偉大なクラシックのホワイトゴールド・モデル

2018年、パテック フィリップはゴールデン・エリプスの誕生50周年を記念するため、プラチナ・モデルと、これにマッチするカフリンクスのセット（100個限定製作）を創作した。これはきわめて希少となった伝統的なハンドクラフト技術へのオマージュであった。マニュファクチュール パテック フィリップは、ポリッシュ仕上げのホワイトゴールド・ケースとリニューアルされた文字盤装飾を備えた、この卓越したタイムピースの新しい解釈によるニューモデルを現行コレクションに収めることにより、当社の技術的、美的完成をいま一度再確認する。

18金ゴールド文字盤プレートには、先ず彫金によりくぼみが形成され、そこにシャンルヴェ七宝と呼ばれる技





術により、本黒七宝が施される。七宝に覆われていないホワイトゴールドの地の部分には、全面に手彫金による唐草模様と渦巻模様の装飾が施されている。マニファクチュール パテック フィリップは、偉大なジュネーブの伝統を受け継ぎ、細心の配慮を注いで保護育成してきた、手彫金と七宝という時計装飾における最も古い2つの技術を組み合わせている。唐草模様と渦巻模様の装飾は、ゴールデン・エリプスの独自性溢れるフォルムと完璧にマッチする。また人類史上の最も偉大な建築物や芸術作品に用いられてきた理想的な《黄金分割》からインスピレーションを得た、美しくバランスの取れたケースのプロポーションを際立たせている。ホワイトゴールドの繊細な《シュヴー（毛髪）》型時・分針が時刻を表示し、リュウズにはオニキス・カボションがセッティングされている。

この芸術的な文字盤の下では、22金偏心マイクロローターを備えた自動巻ムーブメント、キャリバー 240が時を刻んでいる。その驚異的な薄さにより、このモデルのきわめてエレガントなケース（厚さ6.58 mm）に搭載が可能となった。このニューモデルの時を超越したスタイルは、ケースのフォルムとマッチするホワイトゴールドのピンバックルを備えた、ラージ・スクエアのハンドステッチ・ブリリアント・ブラック・アリゲーター・バンドによってさらに強調されている。

新しい希少なハンドクラフトによるゴールデン・エリプス 5738/51G-001モデルは、ブルー・ソレイユ文字盤を備えたプラチナ仕様の5738P-001モデル、およびエボニーブラック・ソレイユ文字盤を備えたローズゴールド仕様の5738R-001モデルからなる現行コレクションに加わる。

### ノーチラス・ハイジュエリー 7118/1450G モデル 全面にダイヤモンドをスノー・セッティングした、ホワイトゴールドのニューバージョン

2021年4月、パテック フィリップは象徴的なノーチラス・デザインと洗練されたハイジュエリーを組み合わせた、ローズゴールド仕様の7118/1450R-001モデルを発表した。このモデルは、ケース、ベゼル、およびブレスレットにダイヤモンドをスノー・セッティングし、文字盤には、婦人用ノーチラス・コレクションに特徴的な、浮き彫りされた優雅な波形のパターンに沿って何列にもダイヤモンドがセッティングされている。マニファクチュール パテック フィリップは、この光輝く作品に、新たにホワイトゴールド仕様のバージョンを加える。それは創造性、芸術性、非の打ちどころのない製作の組み合わせを通じて明らかになる、パテック フィリップのスタイルによるジュエル・セッティング技術の真髄といえるだろう。

新しいノーチラス・ハイジュエリー 7118/1450G モデルには、2,553個のブリリアントカット・ピュア・トップウェットトン・ダイヤモンド（約12.69カラット）がセッティングされている。審美的な魅力を最大限に引き出すため、パテック フィリップはスノー・セッティング（別名ランダム・セッティング）技術を採用した。ジュエル・セッターは自由なインスピレーションに導かれ、石と石の間のゴールド素材ができるだけ見えないように、異なるサイズのダイヤモンドを組み合わせる。そのため、各々のタイムピースは、ユニークピースとなる。時計の一部をなすジュエル・セッティングは、パテック フィリップ・シールの厳格な規準に準拠している。

ハイジュエリー・ウォッチにおいても最高の視認性を保証するため、文字盤は、夜光付ブラック仕上げホワイトゴールドのアルファ型時・分針と、やはり夜光付ブラック仕上げホワイトゴールドの植字数字とアワーマーカーを配している。



ホワイトゴールド・ケースには、自動巻キャリバー 324 Sが搭載されており、その精緻な仕上がりをサファイヤクリスタル・バックを通して鑑賞することができる。18金ホワイトゴールドのブレスレットには、独立した4つの止め金を備え、安全性を高めた特許取得のパテック フィリップ折り畳み式バックルが装着され、エレガンスと快適さを共に実現している。新しいホワイトゴールド仕様ノーチラス・ハイジュエリー 7118/1450G-001モデルは、パテック フィリップ現行コレクションのローズゴールド仕様7118/1450R-001モデルに加わる。

